

「探求と創造 ～進化を続ける青年部～」

～コロナ禍においても絶やさぬ青年部活動～

2022-2023 事業報告書

工組・支部名 : 北海道電気工事業工業組合青年部連合会 苫小牧支部
資料提出日 : 令和4年8月10日

1. 【事業名】 令和4年度 小学生夏休み電気工作実験教室
□新規事業 ・ 継続事業 (3期目)

2. 【実施日時・作成者】 令和4年7月30日(土) ①10:30～11:30
②13:00～14:00
③15:00～16:00

作成者: 佐藤 嘉彦

3. 【実施場所】 苫小牧市民活動センター 1階多目的ホール

4. 【提言書2020との適合性】 本事業に当てはまる項目番号と提言書ページ数をご記入ください
提言書2020 → Googleドライブ「【評議員用】全国青年部協議会フォルダ」

- ①人材育成と後継者育成 (P.5～) ②組合員の経営安定化の支援 (P.12～)
③技術・施工品質の向上と経営能力の向上 (P.16～)

◎項目番号: ④ ◎提言書ページ: P.19

◎提言書にない方 :

5. 【事業目的】

- 1) 全体を通じて電気に興味・関心をもつ
- 2) 工作で様々な道具に慣れ、ものづくりの楽しさを知る
- 3) 実験で電気を通す物の性質について理解を深める
- 4) 業界・地元の魅力を発信
- 5) 苫小牧工業高校(電気科)との連携強化

6. 【事業内容】

小学生夏休み電気工作実験教室 ～電気を通す物と通さない物～
豆電球と乾電池で電気を通す物発見器を作り
電気を通す物か通さない物かいろいろな物で実験を行う

7. 【参加員数】

苫小牧電気工事業協同組合青年部	12名
苫小牧電気工事業協同組合	2名
苫小牧工業高等学校(電気科)2年	21名
苫小牧工業高等学校(電気科)教員	2名
電気工作実験教室参加者(小学生)	48名
合計	85名

8. 【外部協力者】

協力: 北海道苫小牧工業高等学校
後援: 苫小牧教育委員会
取材: 苫小牧民報、北海道建設新聞、苫小牧ケーブルテレビ

「探求と創造 ～進化を続ける青年部～」

～コロナ禍においても絶やさぬ青年部活動～

9. 【事業総額】 104,074 円

10. 【事業の成果・PR ポイント】

電気工作実験教室への参加応募人数はいずれの回も定員に達した。

実施後の感想からも、子供たちに十分に楽しんでもらえたようである。

一人一人がじっくりと作品作りに取り組んでいる様子をうかがうことができたし

子供たちがものづくりに親しみ、楽しむ機会を提供できたと思う。

そして、完成した電気を通す物発見器で電気を通す物か通さない物かの実験をした。

通すか通さないか予想をしながら進めたことにより、実験結果が印象に残ったようだった。

これがきっかけとして実験を好きになった参加者もあり、開催の効果は期待以上のものであったといえる。

完成した電気を通す物発見器のほか、電気について簡単まとめた資料と夏休みの自由研究で学校に提出できるように、実験結果をまとめるための模造紙と教室で実験したものの名称入りの画像を印刷した紙をプレゼントした。

協力してくれた苫小牧工業高等学校電気科2年生の生徒たちも、最初は恥ずかしそうなそぶりも見えたが、子供たちに優しく接してくれ、すぐに慣れていいお兄さんぶりを発揮していた。

青年部員との距離も縮まり、12月のインターンシップ事業もいい影響がありそうだ。

翌週の8月5～7日に開催されたとまこまい港まつりでは、青年部が出店しているかき氷店に多くの参加者が足を運んでくれた。

家に帰ってから実験した物を教えてくれたり、完成した資料を見せてくれたり、次回があるならまた参加させて下さい等、大変良い反応をいただくことができました。

ものづくりと実験を楽しむ機会を提供でき、非常に有意義な電気工作実験教室であった。

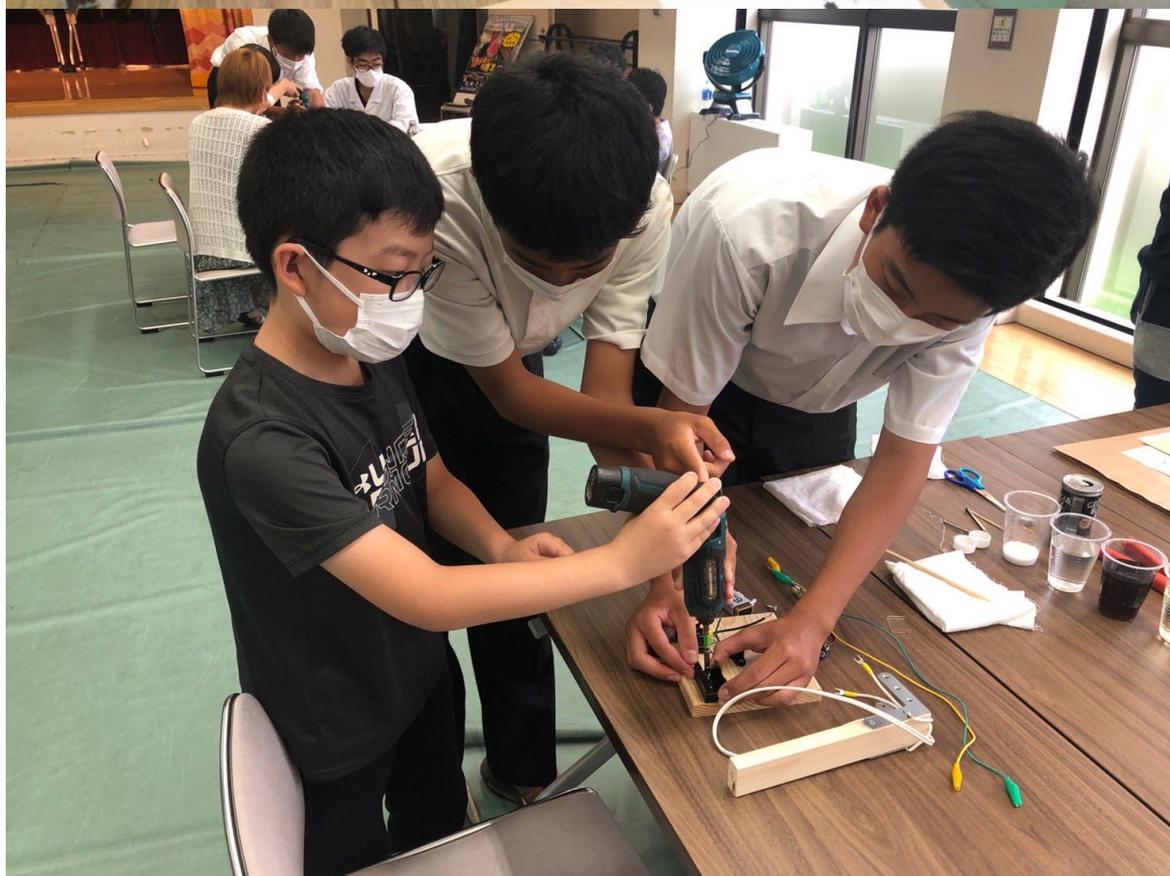
11. 【反省点または工夫した点】

- 1) 新型コロナウイルス感染予防対策（飛沫抑制、手洗・消毒、換気、検温等）を実施した
- 2) 高校生へ協力を依頼することにより、ボランティア活動の場を提供できた
- 3) 事前に学校を訪問し、協力してくれる生徒へ趣旨と要点を説明したので理解が深かった
- 4) 対象が小学生1～6年生だったため、制作時間に個人差があった
- 5) 工作と実験を1時間で設定したため、飽きずに集中して実施できた
- 6) 純水を実験してから塩を入れ食塩水にして再実験するなど印象に残るよう工夫した
- 7) 実験結果を家で行うことにより、まとめ方に個性や独創性が出た

「探求と創造 ～進化を続ける青年部～」

～コロナ禍においても絶やさぬ青年部活動～

12. 【別添資料（写真・動画等）】



「探求と創造 ～進化を続ける青年部～」

～コロナ禍においても絶やさぬ青年部活動～



「探求と創造 ～進化を続ける青年部～」
～コロナ禍においても絶やさぬ青年部活動～

「探求と創造 ～進化を続ける青年部～」
～コロナ禍においても絶やさぬ青年部活動～

小学生 夏休み 電気工作実験教室

～電気を通す物と通さない物～

豆電球と乾電池で電気を通す物発見器を作り
電気を通す物か通さない物かいろいろな物で実験します

令和4年7月30日（土）

① 10:30～11:30

② 13:00～14:00

③ 15:00～16:00

場所：苫小牧市民活動センター 1階多目的ホール
(苫小牧市若草町3丁目3番8号)

対象：小学生

料金：無料

定員：各回16人 申し込み順
定員になり次第締め切り

申込：電話 事前予約のみ
苫小牧電気工事業協同組合
0144-32-4319

主催：苫小牧電気工事業協同組合青年部

協力：北海道苫小牧工業高等学校

後援：苫小牧市教育委員会

